



西河 巧

農林業の振興と 循環型社会構築について

問 耕作放棄地の現状と今後について問う。

答 平成27年の農林業センサスによると25.5haある。今後は、農業経営基盤促進法に基づく地区計画の策定につとめ、担い手や農地の集約に取り組む。

問 獣害対策について問う。

答 近年、特に鹿による農林業被害が大きな課題になっている。鳥獣被害防止緊急捕獲活動事業では、令和4年度に707頭、令和5年1月末現在550頭の鹿を捕獲している。引き続き、大阪府猟友会能勢支部と連携し、取り組んでいく。



問 町域の8割を占める山林の活用は、地域循環型社会の構築に向けて、非常に大事なことと思う。

答 森林環境譲与税を使い、町有林の広葉樹林化等進めて行きたい。

問 観光物産センターの現状と今後について問う。

答 観光物産センターは今年で開業24年を迎える。令和2年地域商社化事業に取り組み、レストランメニューの見直しやおむすびショップ、スイーツショップの開設等、こうした取組みにより客数、客単価、売上額の向上に結びつき、令和5年度売上額は、5億円の目標に到達できる見込みとなった。物産センターを地域の中核施設となるよう、令和6年度に道の駅活性化構想の策定に取り組んでいく。

一般質問



難波 希美子

本町の生物多様性

問 本町のレッドリストの利用と生物多様性の保全にむけた方向性を問う。

答 持続可能な農林業の展開を推進することで里山を形成し、生物多様性保全に努めていきたい。

問 生物多様性保全の為に化学物質を使わない農業の推奨はしているのか。

答 環境負荷軽減の農業は国でも大きな流れになっている。本町でもそういう方の支援はしている。

耐震住宅

問 本町の耐震改修促進計画の情報が古いが見直しの予定を問う。

答 情報は古いが、令和10年度に改定の予定である。

問 国などに要望している本町の固有事情を踏まえた制度改正の内容を問う。

答 古民家の耐震診断は高額なので、利用し易い制度を要望している。

問 古民家専門の業者の案内もしてはどうか。

答 相談窓口も複数あるので啓発をしていく。

乗合タクシーの休日運行

問 公共交通についての考えを問う。

答 限られた財源の中から公共交通の構築をめざす。高齢者等の外出機会を増やし、健康増進、環境負荷の軽減を鑑み、利用促進に努める。

問 乗合タクシーは土日祝、年末年始が運休で1年の1/3は乗れない。運休なしの場合の経費を問う。

答 約800万円の追加である。

